

カイバラボ×unerry PPIHのリテールメディアサービス拡充に向け連携 大規模な広告配信と効果検証を両立可能なメーカー向けサービスを提供開始

パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(以下、PPIH)グループで、デジタル領域を担う株式会社カイバラボ(本社:東京都、代表取締役社長:森谷 健史、以下、カイバラボ)と、リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営する株式会社unerry(本社:東京都港区、代表取締役社長CEO:内山 英俊、以下、unerry)は、PPIHグループのリテールメディアサービス拡充に向けた連携を開始いたしました。

PPIHグループの購買データと、unerryの人流ビッグデータを掛け合わせることで大規模な広告配信と効果検証が両立可能なメーカー企業向けサービスを提供開始します。

unerryとカイバラボが連携
PPIHグループのリテールメディアサービスを拡充

KaibaLab
国内約1,400万ユーザーの
「majicaアプリ」購買データ

unerry
来店と行動嗜好性を捉える
国内1.5億IDの人流データ

■購買データ×人流データが実現する「リテールメディアサービス」

PPIHが持つ国内620超の店舗での購買データおよび国内1,400万以上のユーザーを持つ「majicaアプリ」から生まれる購買データと、unerryが保有する3.9億ID(うち国内1.5億ID)の人流ビッグデータとを掛け合わせることで^{※1}、メーカー企業向けの新たなリテールメディアサービスを実現しました。

PPIHグループは、総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ」や総合スーパー「アピタ」「ピアゴ」を中心に国内外で730店舗超を展開しています。訪日客の増加に伴い、新たに定義したインバウンド業態やZ世代向け業態の「キラキラドンキ」など、日常使いから特化型まであらゆる業態を持っています。加えて、都心一等地と郊外をカバーする地域を問わない店舗立地や、豊富な取扱アイテム数による幅広い年齢層向けの店舗開発も強みとしており、メーカー企業においてはこれらPPIHのアセットを活用することで、あらゆるターゲット層へ網羅的なマーケティング施策の実行が可能です。この度、新たに提供開始するサービスは、これらのPPIHグループの特徴を生かし、ターゲティングの確度を高めながら、より幅広い消費者へコミュニケーションのデリバリーを可能とするものです。

※1 データ連携および活用は、各サービスにおけるユーザーの許諾・法令の範囲内で行われます。

■本サービスの特徴

①顧客像を精度高く捉える「深いリーチ」

幅広い商材を取り扱う PPIH グループの購買データと、unerry の人流データ解析による「行動 DNA^{※2}」、PPIH 店舗への来店および特定売場での来棚検知など、リアル行動に基づく広告配信セグメントを作成。ターゲットとなるペルソナ像と同じ特徴量を持つユーザーへの広告配信が可能。

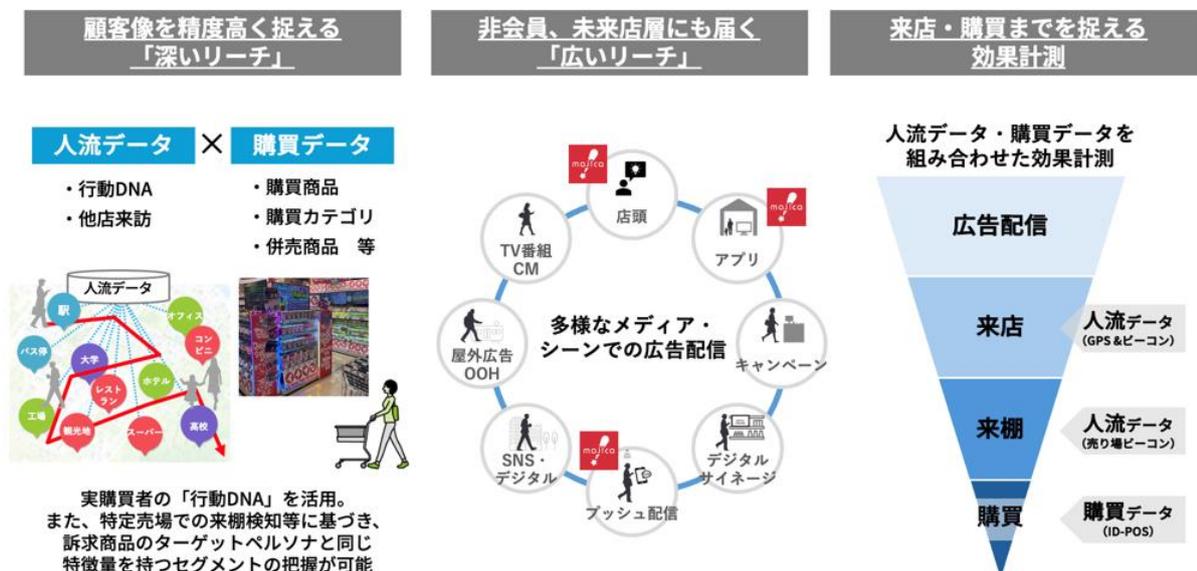
②非会員、未来店層にも届く「広いリーチ」

国内 1,400 万以上 の「majica アプリ」ユーザーだけでなく、unerry の「Beacon Bank」が連携する国内 1.5 億 ID のユーザーへの店舗周辺でのアプリプッシュ、デジタル広告、コネクテッドテレビ、OOH など多様なメディアでの幅広い配信が可能。

③来店・購買までを捉える効果計測

人流データの解析で、広告配信対象者における PPIH 店舗への来店率、来棚率を計測。また、購買データとの連携で購買率を捉えます。さらに unerry の人流データ解析により他店舗への来店実績もわかるので、PPIH 店舗に限定しない投資対効果の全体像が明らかになります。

※2「行動 DNA」とは、ユーザーが訪れる各スポットを「外食」「ショッピング」「生活・サービス」などを中心とした約 150 の場所カテゴリに分類し、指定した期間内に対象となるユーザー群が足を運ぶ度合いを偏差値で示したものです。「Beacon Bank」提携アプリユーザー全体の行動傾向を偏差値 50 としたときに、対象となるユーザー群の度合いを見ることでその特性を把握。消費者理解に必要なライフスタイル傾向を捉えます。



■担当者コメント

＜株式会社カイバラボ リテールメディア商品開発責任者 小林真美＞

従来の PPIH リテールメディアサービスにおいては、非会員や自店舗へ来店・購入していない潜在顧客層への確度の高い情報配信やその効果計測が難しいという課題がありました。そのため広告主であるメーカー企業様では売場・棚獲得に一定の効果を感じているものの、「マーケティングの全体設計に組み込まれず、施策

が限定的になってしまう」といったお声もありました。本サービスでは、majica アプリ会員や PPIH 店舗来店者以外への「深く広いリーチ」と効果計測を実現し、メーカー企業様の大規模なリテールメディア施策の実行を支援いたします。

<株式会社 unerry 取締役副社長 COO 鈴木茂二郎>

当社では、自社で人流データを蓄積・利活用するだけでなく、様々なリアル/デジタルデータと繋げることで「データエコシステム」を形成しています。今回、PPIH グループとの取り組みにおいては、この「データエコシステム」が顧客理解の深さ、リーチの広さ、適切な計測という観点で活かされており、当社にとっても意義深い取り組みと捉えています。この新しいリテールメディアサービスを通じ、メーカー企業様のリテールメディアの活用促進を後押ししていきます。

■会社概要

会社名：株式会社カイバラボ

代表取締役社長：森谷 健史

所在地：東京都目黒区青葉台 2 丁目 19 番 10 号

HP：<https://www.kaibalab.com/>

会社名：株式会社 unerry

代表取締役社長 CEO：内山 英俊

所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー 23F（ WeWork 内）

HP：<https://www.unerry.co.jp/>

■一般の方のお問合せ先 株式会社カイバラボ

お問い合わせフォーム（<https://www.ppihgroup.com/form/pc/index.php?fn=1561>）をご利用ください。